# 登別中だより

二年生による学校祭の秋らしい飾りつけです。

【教育目標】すすんで学び 正しく判断する(知)　思いやりを持ち きびしさに耐える(徳)　命を大切にし 心身を鍛える(体)　　令和４年９月２６日発行　No. 6

## 「生徒会主催　いじめ撲滅集会から」

校長　寺　岡　　弘

９月３日（土）土曜授業日に生徒会主催で「いじめ撲滅集会」が実施されました。全校での縦割りの活動です。全部で７つのグループに分けて話し合いました。集会の目的は「いじめは卑劣で、あってはならないことを共有する」「いじめをしない、させないために一人一人ができることを考える」の２点です。この目的に迫るため生徒会では、いじめについてのオリジナルムービーを作り、加害者、被害者、傍観者のそれぞれに視点を当てて考えさせました。ムービーの登場人物は３人。「たびたび先輩に対して失礼なことをしているが全く自覚していない２年後輩（被害者）」「後輩のあまりの態度に怒りが頂点に達し、無視をしたり嫌がらせをする３年先輩（加害者）」「状況もわからず雰囲気の悪さにも何もできない３年男子（傍観者）」です。グループごとにそれぞれの立場になって、どうすればよかったかをクロームブックで考えました。クロームブックで自分の考えを書きこみ、その後グループ内で自分の考えを発表、交流しました。最後に一人一人が「いじめ撲滅宣言」を書き、登別中学校のいじめ撲滅の決意を新たにしました。

生徒が書いた撲滅宣言の内容は次の通りです。

＜生徒のいじめ撲滅宣言＞（生徒の宣言から一部抜粋）

・私は誰に対してもいじめをしません。私はいじめを誰にもさせません。そのために、人の嫌がるようなことはせず、人間関係を大切に生活します。
・私たち一人一人が周りをよく見て助けてあげることが大切だと思います。
・傍観者にならず、いじめを見つけたら自分から止めることをします。
・相手を傷つける言動はしません。
・相手の気持ちを考えた行動をします。
・いじめになる前に話し合ったり、いじめを見たり聞いたりしたら止めに入れるように努力します。
・全員と仲よくし、だめだなと思ったことは行動だけで示さず、言葉にして注意したいと思います。

上記のような力強い宣言がたくさん出てきました。身の回りにありがちなことから普段の生活を見つめ直し、どうしていけば、いじめをしないように、させないようにできるのかをしっかりと考えることができたと思います。今後も登別中学校が誰にとっても安全で安心な学校になるように生徒の皆さんが意識してくれると嬉しいです。学校としても誰もが楽しく学校に来ることができるようにしていきます。

## 子どもたちに伝えたい、いじめを深刻化する２つの条件　～「力の不均衡」と「間違った考え方」～

「いじめの科学」（和久田学　著）という本にいじめを深刻化する２つの条件がありました。（以下一部抜粋）

一つ目の条件は「力の不均衡」です。力の不均衡とは、加害者が肉体的に力が強く被害者が弱いとか、仲間がいるものと孤立しているものとか、スポーツができるものとできないものとか…、です。　～　「いじり」と「いじめ」の境界は「力の不均衡」ではっきりします。力の不均衡がない、つまり相手の「いじり」に対して言い返せるうちは「いじり」として済ますことができますが、力に不均衡が生じ、言い返すことができなくなった時に「いじめ」となります。二つ目の条件は「間違った考え方」です。「間違った考え方」とは、いじめの加害者が加害行為をしていても、「いじめ」に気づけないことです。例えば、被害者を痛めつける行為をしていても、「あれは遊びだった」とか、被害者の気持ちに全く共感することなくいじめを正当化してしまうことです。この二つの条件がそろうと、被害者が異議申し立てをすることは難しくなります。確かに、相手の力が強くて怖いのですから、やり返すこともできなければ、嫌だと言うこともできません。もしもそれが可能ならば、そこに「力の不均衡」は存在せず、「通常の子ども同士の争い」になります。被害者に対して、「やり返せ」とか「強くなれ」と言うのは、無意味です。加害者がいじめ関係をやめればいいのですが、残念ながら「間違った考え方」があり、加害者は気づけません。当事者には解決が難しいですので 第三者の介入が必要になるのです。

今回の生徒会のムービーも、加害者は３年生、被害者は２年生で、学年での上下関係があり、一つ目の条件「力の不均衡」があります。また、被害者が加害者に対して無自覚で失礼なことをしていることが、嫌がらせは絶対にダメなことなのに、被害者が嫌がらせを受けるのは当然だという、二つ目の条件「間違った考え方」ができてしまっています。この嫌がらせ・いじめを止めるには第三者が入るしかないのです。生徒の皆さんには是非、２つの条件について、身近なところで起こりうることとして考えてほしいと思います。

## 完全燃焼！！　　スローガン「完全燃焼～クラスのためにいつでも本気～」

夏休み前から各クラスでは学校祭の準備が始まりました。9 月に入ってからは、学校祭の特別日課になり、動きが本格化し、いつものことですが、合唱・ステージパフォーマンス・わくわくマーケット…と忙しい毎日を過ごすようになりました。帰宅した後は、生徒たちも疲れたことを話していたのではないでしょうか。本当に生徒たちは一生懸命です。学校祭の活動では、一人一人が「完全燃焼」するように、「クラスのために本気で」頑張っていました。その中で、子供たち一人一人の輝く姿を見ることができました。学校としてもうれしい限りです。

取組の中でもわくわくマーケットは販売するものを大量に作らなければいけませんので本当に大変です。ちなみに、1 年生は「キャンドル・マスクケース・ハーバリウムなど」2 年生は「ボールライト・アイスマグネットなど」3 年生は「ステッカー・かご・芸術的な絵・写真立て・プラバンなど」見ていると各学年のオリジナリティーが見て取れてとても面白いです。（作っている方は大変ですが…）クオリティーの高い商品もたくさんあり、生徒たちも目移りしながら購入していました。販売の方も大盛況に終わったようです。

合唱はコロナ感染対策のため前後左右２ｍの間隔をとり、マスク着用で自由曲のみ行いました。1 年生は「Believe」。2 年生は「ほらね、」。3 年生は「群青」です。学校祭準備期間中も毎日練習し、本番に向けて努力してきました。学校祭当日はどの学級も今までで一番いい合唱を聞かせてくれました。特に３年生は４部合唱で美しいハーモニーを聞かせてくれました。

閉祭式の最後に、学校祭生徒会総務引退セレモニーがありました。昨年の学校祭が終わった後から、生徒会総務として１年間学校のために走り続けてきました。３年生の３人にとって、楽しくもあり大変だった生徒会の１年間だったと思います。それぞれのコメントにもその思いがあふれ、涙していましたね。でも充実していたのが感じられ、うれしかったです。３年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。生徒会みんなの頑張りは２年生や１年生全員に届いたと思います。後期の生徒会活動にもこれから期待したいですね。

左：３年生わくわく
中：３年生ｽﾃｰｼﾞﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ
右：２年生わくわく

左：２年生ｽﾃｰｼﾞﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ
中：１年生わくわく
右：１年生ｽﾃｰｼﾞﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ

| | |
|---|---|
| ３日（月） | エコパネル展（～７日） |
| ４日（火） | 専門委員会（前期反省） |
| ５日（水） | 家庭学習日<br>知里幸恵の生涯　一人芝居鑑賞（登小） |
| ６日（木） | 室蘭清水丘オープンスクール |
| ８日（土） | ソフトテニス秋季大会（岡志別～９日） |
| １０日（月） | スポーツの日 |
| １１日（火） | 特振協合同学習会　（洞爺湖方面） |
| １２日（水） | 家庭学習日 |
| １３日（木） | ３年学力テスト（総合Ｂ） |
| １８日（火） | 思春期教室（２年５・６ｈ） |
| １９日（水） | 英検ＩＢＡ　職員会議　家庭学習日 |
| ２０日（木） | 立会演説会・投票<br>ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（室栄）（～２１日） |
| ２１日（金） | 専門委員会 |
| ２２日（土） | 土曜授業日（各講話　２～３ｈ）<br>１年：職業講話<br>２年：認知症サポーター養成講座<br>３年：薬物乱用防止教室<br>海星オープンスクール |
| ２５日（火） | ３年保育実習① |
| ２６日（水） | 認証式　家庭学習日 |
| ２７日（木） | ３年保育実習② |
| ２９日（土） | 大谷室蘭オープンスクール |

**※１１月６日（日）吹奏楽部定期演奏会（市民会館）**